

海外事務所 主な活動報告（令和 8 年 3 月）

《ワシントン州事務所》

ロサンゼルス・トラベル&アドベンチャー・ショー (LATAS) が開催され、本県観光PRのため出展し、姫路観光コンベンションビューロー（姫路観光CB）と共同でブース運営を行った。

ひょうごフィールドパビリオンを紹介したところ、体験型プログラムを希望する来場者も多く、刀鍛冶体験や醤油作り体験、また神戸牛等の「食」関連の人气が高かった。フィールドパビリオンは、多数のコンテンツがあるだけでなく、現地の人々と触れ合えること等も大変興味深いといった感想が聞かれた。

今回は、関西観光本部ブース内に、姫路観光CBを含めた関係者と連携して出展することにより、兵庫県だけでなく関西全体として効果的にPRできた。加えて、県フィールドパビリオン推進課及びひょうご観光本部も参加することで、より詳細かつ丁寧に兵庫の魅力について紹介をすることができた。今後も様々な関係者と連携しながら、本県への観光誘客に取り組んでまいりたい。

＜ロサンゼルス・トラベル&アドベンチャー・ショー (LATAS) ＞

○日 程 2026 (R8) 年 3 月 7 日 (土) ～ 3 月 8 日 (日)

○場 所 ロングビーチコンベンションセンター
(ロサンゼルス市近郊)

○参加者 約 17,000 人
(うち、兵庫県ブース来場者 約 1,000 名)



兵庫県ブースの様子

《パリ事務所》

在マルセイユ日本国総領事の主催で開催された天皇誕生日レセプションに兵庫県から出展し、本県観光地のPRと兵庫の酒の試飲提供を実施した。

レセプションでは、これまでに商談を行った旅行代理店や、神戸市とマルセイユ市の交流を行っている市民団体など現地関係者とも面会し、改めて本県の魅力を紹介する機会となった。

令和 8 年度は神戸市・マルセイユ市の姉妹都市提携 65 周年であり、今後も引き続き現地関係者と連携しながら、本県との交流を推進していきたい。

＜天皇誕生日レセプションへの出展＞

○日 程 2026 (R8) 年 3 月 18 日 (水)

○場 所 在マルセイユ日本国総領事公邸
(マルセイユ市内)

○参加者 マルセイユの日仏交流関係者等 約 100 名
(うち、兵庫県ブース来場者 約 70 名)



兵庫県ブースの様子

《香港経済交流事務所》

日越外交関係樹立 40 周年を機に 2013 年に初開催され、今回で 11 回目を迎えた「ジャパンベトナムフェスティバル in ホーチミン」に兵庫県ブースを出展した。ブース出展にあたっては、県内や関西の各地方銀行等と事前に調整を行い、本県を含む 8 ブースを間仕切りなく連結し、「Discover KANSAI」エリアとして関西全体の魅力や企業を一体的に PR する構成とした。

開会式には、サン元国家主席、ミン・ホーチミン市共産党副書記、武部日越友好議員連盟特別顧問らが出席した。挨拶では、ミン副書記が「本フェスティバルにおける交流を通じて、ベトナムと日本の友好関係はさらに深く、大きく広がっていくと確信している。」と述べ、また武部特別顧問も「本フェスティバルが、両国の人々を結びつける場である。」と強調した。

兵庫県ブースでは、県や各市町の観光パンフレットを配置し、来場者へ PR を実施した。ジャパンフェスティバルということもあり、アニメキャラクターなどのコスプレ姿で来場する人も多く、日本のアニメ・ゲーム人気の高さを改めて実感した。また、「4 月に関西を訪問するので桜の名所を教えてください」といった具体的な相談も多数寄せられ、誘客につながる手ごたえを得ることができた。さらに、ホーチミン兵庫県人会の方々にも多数来場いただき、ブース内での PR 活動にもご協力得た。

また、「Discover KANSAI」エリアとして連携した県内金融機関のブースでは、兵庫県企業 4 社が参加し、試飲・試食を実施した。関西が一体となり大規模に PR を行ったことで、注目を集め、多くの来場者が訪れた。

今回の出展は兵庫県の魅力を広く発信する好機となった。今後も兵庫県の認知度向上とさらなる誘客の拡大に努めていきたい。

<ジャパンベトナムフェスティバル in ホーチミンへの出展>

- 日 程 3 月 7 日（土）～ 8 日（日）
- 場 所 9 月 23 日公園（ベトナム・ホーチミン市内）
- 来場者 約 45 万 8 千人（うち兵庫県ブース約 1,500 人）



Discover KANSAI エリア（左）